

会議名	みんなでまちをよくする『ミナヨク』事業支援業務委託 第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年8月22日(木曜日) 午前10時30分から午後0時30分まで
開催場所	麻布地区総合支所 3階第一会議室
委員	(出席者) ※敬称略 委員長 麻布地区総合支所長 太田 貴二 副委員長 麻布地区総合支所協働推進課長 池端 隼人 委員 麻布地区総合支所管理課長 鳥居 誠之 麻布地区総合支所まちづくり課長 傳法谷 大樹 麻布地区総合支所区民課長 川口 薫  (欠席者) なし
事務局	麻布地区総合支所地区政策担当係長 麻布地区総合支所協働推進係
傍聴者	なし(非公開)
会議次第	1 第1回選考委員会議事録について 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について
配布資料	[紙資料] 次第と第一次審査集計結果 [電子データ] 資料1 第1回選考委員会議事録(案) 資料2 第一次審査集計結果 資料3-1 第3回選考委員会スケジュール 資料3-2 第二次審査の実施に関する留意事項(案) 資料3-3 採点基準表(第二次審査) 参考資料1 みんなでまちをよくする『ミナヨク』事業支援業務委託事業候補者募集要項 参考資料2 みんなでまちをよくする『ミナヨク』事業支援業務委託事業候補者選考基準
会議の結果及び主要な発言	
委員長	【開会】 (委員長から開会の挨拶と紹介) ~詳細省略~
事務局	(資料の説明について) (議事録の説明について)

委員C	募集要項内の「港区情報安全対策指針の遵守」については、ガイドラインに沿ったという説明でなく、意図について説明してほしかったが、今回はこれでよい。
事務局	<p>【みんなでまちをよくする『ミナヨク』事業支援業務委託】</p> <p>採点表と、事務局の評価及び見積もり額の評価の説明</p> <p>選考最低ラインは60%</p> <p>各委員の講評をお願いします。</p>
委員C	<p>AとBに差はなく、離れてC、Dの評価。まずAは手堅い。これまでの課題である終了後の活動継続とか参加者をどのようにアップするのか離脱を防止するにはどうしたらいいかを踏まえた提案になっている。参加者の小さな成功体験を感じさせることや仕事中心で地域との接点が希薄な30代から50代をターゲットにしてサポーターを育成している。この点は評価できる。ただ、麻布地区の特色を活かしたものをもう少し出してほしかったが、この辺りはプレゼンで聞きたい。Bについても同様に手堅く、麻布の特色を踏まえている。特に公式ホームページを作るといった点についても評価ができる点。Cについては体制面で色々書かれているが、兼務で担って3名体制であること、バックアップや安全管理面に努めますとしか書いておらず不安がある。また、課題についても外国人が多い、子供が遊べるところが少ない、繁華街と交通面の課題認識があるがこれを踏まえてどうするかというのは挙げられているがこれらをどうしていくかはカリキュラムから見られなかった。Dは体制のところでは統括責任者の人数体制が少なく心配。内容については地区版計画書を読んで課題の勉強をしているが、提案の部分が人間関係希薄、定年退職者孤立の課題を挙げているが、事業自体が若者向けなので関連性が見られない。また、アイデアづくりの工夫の面でブレインストーミングとKJ法について書いているが使い古されて新しいものではなく、高い評価にならない。</p>
委員E	<p>ミナヨクについては4社を比較しながら一つずつ見たことから顕著につけている。Aはターゲット層を30から50代にして具体性がある点が評価できる。Bは一人ひとりオンラインミーティングでフォローできており活動しやすくてよい。Cは外部講師の提案をどういう部分で相乗効果があるのか見えてこない。Dは講師陣が麻布にゆかりがあ</p>

委員D	<p>るが、提案力としての評価は低くなる。</p> <p>A、B→C、Dは不安</p> <p>Aの評価が高いが、麻布じゃなくても書ける文章という印象があった。他のものを参考に取組んでももう少し具体性を2次審査で聞いてみたい。Bは熱意が感じられ任せてみてもよいという評価。目標設定は無理なく、実効性があり、事前ミーティングで1対1の意見交換を行うため、入り込みやすい。旧住民と新住民との関係性についても述べている点も評価できる。Cについては具体性がなく、スタッフも少ないため熱意が感じられなくて不安。Dは地区版計画書をみればわかることを書いており、まちづくりの観点ではなくカウンセリングに近い提案なのはいかがなのか。</p>
委員B	<p>Cを除きA、B、Dは大きな差がない。</p> <p>Aは及第点で、若者世代を含むターゲットを設定しているが、その世代をどう取り込むのかの記載がなかったため、今後聞いていきたい。また、参加者のアイデア出しについてどう工夫しているかも聞いてみたい。そして行政発注のワークショップを複数受託しているということと、行政のマッチング経験ありで実現性がある事業で可もなく不可もない。Bはミナヨクに携わった経験があり、実現性のあるスケジュールで麻布地区を理解しているのが伝わる。まちづくり会社を繋げるという考え方が示されていて、町会・自治会の活動が頭打ちとなる中で実装すれば、地域の新たな担い手になる。ただしそれがどこまで実現できるかというのが課題。Cはどこの資料も具体性がなく、麻布地区の特性を生かした独自の取組がなく、幅広く参加をさせるといった部分でも具体性がない。Dは普通の評価で、ヘビングラボオープンイノベーションやプラットホームはミナヨクの参加者さんが企画、提案した取組を実装していくために効果的に実現できればと思う。</p>
委員A	<p>AとBは手堅いプランで総合的によくできているが、もう少し麻布の特徴を事業者の視点で深彫りしてくれれば生きてくると思う。Aは他団体の実績があり、大きな失敗はない。若者がターゲットとなっているのもよい。Bは一つ一つの事業をどう進めていくかというスケジュールやゲスト、講師紹介が明確。当たり前かもしれないが、人と場所ができるだけ外にでることでまちを開いてスタートしていくのがよい。ただAとBについてはこれだけのものが理解して書けているなら</p>

	<p>提案にもっと深みがあってもいいと思う。今後話を聞いてみたい。 Cは紋切り型の表現で提案になっていないのではないかと。特に様式9に書いてあるものは、区民も知っていることも多く、企画提案書とは言えない。Dは机上型のプランで、地区版計画書の丸写しで提案書ではない。講師陣はすごいが、お任せという部分が出てしまっている。事業者なりの分析をして麻布をどうしていきたいか書いてない。時代の流れなど今のまちの要求についていけない。</p>
委員長	各委員で採点に当たってのポイントと修正点は何かないか。
各委員	特になし
委員長	<p>項目で各委員の採点に差がある部分についてもこのままで問題ないか。 採点内容の修正はありますか。 (一同、修正なし)</p>
委員長	全体の結果を踏まえると2次審査通過者をAとBの2者にするのがいいと考えられるが、委員Bはいかがか。
委員B	皆さんの意見を聞くとAとBでよいと考える。
委員長	<p>それではミナヨクについてはAとBを二次審査に進める。 事務局に二次選考に関してのスケジュール等説明をお願いします。</p>
事務局	～二次選考に関してのスケジュールと第二次審査の実施に関する留意事項についての説明～
委員C	資料3-1にある、プレゼン用の資料は事前提出なのか当日に持って来るのかどちらか。また、プレゼン用の資料は内容以外追記してはいけないのか。
事務局	プレゼン用の資料は当日持ってくるとしているが、事前に事務局でチェックする。内容は第1次審査で提出しているもの以外は使えない。
委員C	資料3-2にある、入場する人数が4人だが質疑応答に関係しない人

	はいらないのでは。
委員D	多いとは言えないが、ヒアリングは無駄な人が多く参加していたらそれなりの評価に反映させるとかでもいいのでは。
委員B	3人で入室していることが多い。
委員E	何人までとかで人数を制限するのがいいのではないか。
委員長	それでは4人までで制限を付けるということでしょうか。
事務局	その場合だと記載のとおりで問題無いか。
各委員	問題ない。
委員長	また、プレゼンにおいて事業者による内容の深堀は問題ないのか。
事務局	提出資料は第1次審査で提出した内容以外の追記は不可、深堀は第一次審査のために作成した資料で行ってもらう。
委員E	魅力伝承とミナヨクの共通事業者はいないのか。
事務局	全部異なる。
委員B	資料3-2は、これだけを読むと新しい資料を持ってきてよいという解釈にも取れるため、誤解を与えてしまう。また深堀してはいけないのではということにもなる。
事務局	「第一次審査用に提出した一部または全部の資料のみ使用を認める」ことは第一回の委員会で決めたことだが、もしわかりやすくする場合は、「プレゼンテーション用の資料」云々の記載を削除したほうがよろしいか。
委員長	事業者が解釈を間違えないようにすればいいので、注意事項を口頭等で伝えておけばいい。

事務局	かしこまりました。
委員長	最後に共通質問の確認。何かあるか。
委員B	業者決定後に講師に依頼するのか。それとも業者決定前にすでに講師に依頼しているかどうか。これによって事業の実現性が変わってくるため確認したい。
委員長	共通質問については <ミナヨク> ①講師について（確約している人がいるかどうか） でよろしいか。
各委員	問題ない。
事務局	～第三回の選考の説明～
委員長	【閉会】 （委員長から閉会の挨拶）～詳細省略～